

アモキシサンカプセル10mg  
 アモキシサンカプセル25mg  
 アモキシサンカプセル50mg  
 アモキシサン細粒10%

【この薬は？】

販売名	アモキシサン カプセル 10mg AMOXAN CAPSULES	アモキシサン カプセル 25mg AMOXAN CAPSULES	アモキシサン カプセル 50mg AMOXAN CAPSULES	アモキシサン 細粒10% AMOXAN FINE GRANULES
一般名	アモキサピン Amoxapine			
含有量	10mg (1カプセル 中)	25mg (1カプセル 中)	50mg (1カプセル 中)	100mg (1g中)

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」  
<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、三環系抗うつ薬と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、飲みはじめてすぐには抗うつ効果はあらわれないことがあります  
 が、飲み続けると、脳内に作用し、脳内の神経伝達を改善し、抑うつ気分を

和らげます。

- ・次の病気の人に処方されます。

#### うつ病・うつ状態

- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を減らしたりすると、情動不安、悪寒（おかん）、錯乱（さくらん）（注意力が散漫になる、問いかけに間違った答えをする、行動にまとまりがない）、頭痛、睡眠障害、倦怠感（けんたいかん）、嘔気（おうき）、発汗などがあらわれたり、病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

## 【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・閉塞隅角緑内障の人
- ・過去に三環系抗うつ薬で過敏症のあった人
- ・心筋梗塞（しんきんこうそく）の回復初期の人
- ・モノアミン酸化酵素阻害剤（セレギリン塩酸塩（エフピー）、ラサギリンメシル酸塩（アジレクト）、サフィナミドメシル酸塩（エクフィナ））を使用している人、または使用を中止してから2週間以内の人

○次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。

- ・尿が出にくい人、眼圧が高い人
- ・開放隅角緑内障の人
- ・心不全・心筋梗塞・狭心症・不整脈（発作性頻拍（ほっさせいひんみゃく）、刺激伝導障害（しげきでんどうしょうがい）（めまい、気を失う、立ちくらみ、脈が遅くなる、息切れ）など）などの心臓に病気がある人、甲状腺機能亢進（こうしん）症の人
- ・てんかんなどのけいれんを起こす病気がある人や過去にけいれんを起こした人
- ・躁（そう）うつ病の人
- ・死にたいと強く思ったり考えたことがある人
- ・脳に器質的な障害がある人、または統合失調症になる可能性がある人
- ・衝動的な行動を起こしやすい病気にかかっている人
- ・妊婦または妊娠している可能性のある人
- ・授乳中の人

○この薬には併用してはいけない薬[モノアミン酸化酵素（MAO）阻害剤（セレギリン塩酸塩（エフピー）、ラサギリンメシル酸塩（アジレクト）、サフィナミドメシル酸塩（エクフィナ））]や、併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

○24歳以下で抗うつ剤を使用した場合、死んでしまいたいという気持ちを強めることがあるという報告があります。24歳以下でこの薬を使う人は家族も含め医師と十分に相談してください。

## 【この薬の使い方は？】

### ●使用量および回数

飲む量と回数は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

アモキシサンカプセル10mg、25mgまたは50mgを組み合わせて飲むことがあります。

販売名	アモキシサン カプセル 10mg	アモキシサン カプセル 25mg	アモキシサン カプセル 50mg	アモキシサン 細粒10%
一日量	25～75mg			0.25～ 0.75g
飲む回数	一日量を1回～数回に分けて飲みます			

効果が不十分な場合は、次のとおりとすることもあります。

販売名	アモキシサン カプセル 10mg	アモキシサン カプセル 25mg	アモキシサン カプセル 50mg	アモキシサン 細粒10%
一日量	75～150mg			0.75～ 1.5g
飲む回数	一日量を1回～数回に分けて飲みます			

1日の最高使用量はアモキシサン300mgです。

### ●どのように飲むか？

コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

### ●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。

気がついた時に、1回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分飲んでください。

### ●多く使用した時（過量使用時）の対応

けいれん（顔や手足の筋肉がぴくつく、一時的にボーっとする、意識の低下、手足の筋肉が硬直しガクガクと震える）、昏睡（意識の消失、刺激に全く反応しない）、腓炎（強い腹痛、背中痛み、お腹が張る、吐き気、嘔吐、体重が減る、喉が渇く、尿量が増える、皮膚が黄色くなる、油っぽい下痢が出る）、QT延長（めまい、動悸（どうき）、気を失う）、アシドーシス（吐き気、嘔吐、深く大きい呼吸、意識の低下、意識の消失、手足のふるえ）などの症状があらわれることがあります。また、数日後に横紋筋融解（手足のこわばり、手足のしびれ、脱力感、筋肉の痛み、尿が赤褐色になる）に伴う急性腎尿細管壊死およびミオグロビン尿を合併する急性腎障害（尿量が減る、むくみ、体がだるい）があらわれることがあります。

けいれんを含めいくつかの症状が同じような時期にあらわれた場合は、ただちに受診してください。

## 【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

・眠気、注意力・集中力・反射運動能力などが下がることがあるので、自動車の

運転など、危険が伴うような機械の操作を行わないようにしてください。

- ・うつ病やうつ状態の人は死んでしまいたいと感じることがあります。この薬を飲んでいる間、特に飲み始めや飲む量を変更した時に、不安感が強くなり死にたいと思うなど症状が悪くなることがあるので、このような症状があらわれた場合は、医師に相談してください。
- ・不安になる、いらいらする、あせる、興奮しやすい、発作的にパニック状態になる、眠れない、易刺激性（ちょっとした刺激で気持ちや体の変調を来す）、敵意を持つ、攻撃的になる、衝動的に行動する、じっとしていることができない、などの症状があらわれることがあります。これらの症状があらわれた場合は、医師に相談してください。この薬との関連性は明らかではありませんが、これらの症状があらわれた人の中には、うつ症状などのもともとある病気の症状が悪化する場や、死んでしまいたいと感じたり、他人に対して危害を加えたりする場合があります。
- ・ご家族の方は、死にたいという気持ちになる、興奮しやすい、攻撃的になる、易刺激性（ちょっとした刺激で気持ちや体の変調を来す）などの患者さんの行動の変化やうつ症状などのもともとある病気が悪化する危険性について医師から十分に理解できるまで説明を受け、患者さんの状態の変化について観察し、変化が見られた場合は、医師に連絡してください。また、患者さんご自身も病状に変化があったと感じた場合には、ご家族の方にも伝えるようにしてください。
- ・急に飲む量を減らしたり飲む事をやめたりすると、情動不安、悪寒（おかん）、錯乱（さくらん）（注意力が散漫になる、問いかけに間違った答えをする、行動にまとまりがない）、頭痛、睡眠障害、倦怠感（けんたいかん）、嘔気（おうき）、発汗などがあらわれることがあります。そのため、この薬の使用を中止する場合には、時間をかけて、少しずつ量を減らしていきます。医師の指示どおりに使用してください。
- ・無顆粒球症、白血球減少などの血液障害があらわれることがあるので、この薬の使用中は定期的に血液検査が行われます。
- ・妊婦または妊娠している可能性のある人は医師に相談してください。
- ・授乳している人は医師に相談してください。
- ・アルコール飲料はこの薬の効果に影響しますので、控えてください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

## 副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
悪性症候群 (Syndrome malin) あくせいしょうこうぐん (シンドロームマリン)	高熱、汗をかく、ぼーっとする、手足のふるえ、体のこわばり、話しづらい、よだれが出る、飲み込みにくい、脈が速くなる、呼吸数が増える、血圧が上昇する






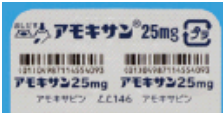

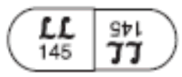
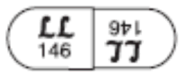
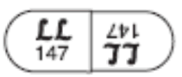
重大な副作用	主な自覚症状
痙攣 けいれん	顔や手足の筋肉がぴくつく、一時的にボーっとする、意識の低下、手足の筋肉が硬直しガクガクと震える
精神錯乱 せいしんさくらん	注意力が散漫になる、問いかけに間違った答えをする、行動にまとまりがない
幻覚 げんかく	実際には存在しないものを存在するかのようを感じる
せん妄 せんもう	軽度の意識混濁、興奮状態、幻覚、妄想
無顆粒球症 むかりゅうきゅうしょう	突然の高熱、寒気、喉の痛み
麻痺性イレウス まひせいイレウス	便やおならが出にくい、吐き気、嘔吐、お腹が張る
遅発性ジスキネジア ちはつせいジスキネジア	意思に反して舌を動かしたり、出し入れしたり、絶えず噛むような口の動き、意思に反して体が動く
中毒性表皮壊死融解症 (Toxic Epidermal Necrolysis : TEN) ちゅうどくせいひょうひえしゆうかいしょう (テン)	皮膚が広い範囲で赤くなり、破れやすい水ぶくれが多発、発熱、粘膜のただれ
皮膚粘膜眼症候群 (Stevens-Johnson症候群) ひふねんまくがんしょうこうぐん (ステーブンス-ジョンソンしょうこうぐん)	発熱、目の充血やただれ、唇や口内のただれ、円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する
急性汎発性発疹性膿疱症 きゅうせいはんぱつせいほっしんせいのうほうしょう	発熱、皮膚が広い範囲で赤くなる、ところどころに小さな膿をとまなう発疹が出る
肝機能障害 かんきのうしょうがい	疲れやすい、体がだるい、力が入らない、吐き気、食欲不振
黄疸 おうだん	白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる、体がかゆくなる

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	高熱、汗をかく、体のこわばり、顔や手足の筋肉がぴくつく、突然の高熱、寒気、意思に反して体が動く、発熱、疲れやすい、体がだるい、力が入らない、体がかゆくなる
頭部	ぼーっとする、一時的にボーっとする、意識の低下、注意力が散漫になる、問いかけに間違った答えをする、行動にまとまりがない、実際には存在しないものを存在するかのようを感じる、軽度の意識混濁、興奮状態、妄想、幻覚
眼	目の充血やただれ、白目が黄色くなる
口や喉	話しづらい、よだれが出る、飲み込みにくい、喉の痛み、吐き気、嘔吐、意思に反して舌を動かしたり、出し入れしたり、絶えず噛む

部位	自覚症状
	ような口の動き、唇や口内のただれ
胸部	呼吸数が増える
腹部	お腹が張る、食欲不振
手・足	手足のふるえ、脈が速くなる、手足の筋肉が硬直しガクガクと震える
皮膚	皮膚が広い範囲で赤くなり、破れやすい水ぶくれが多発、粘膜のただれ、円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する、ところどころに小さな膿をとともなう発疹が出る、皮膚が黄色くなる
便	便やおならが出にくい
尿	尿の色が濃くなる
その他	血圧が上昇する

### 【この薬の形は？】

販売名	アモキシサン カプセル 10mg	アモキシサン カプセル 25mg	アモキシサン カプセル 50mg	アモキシサン 細粒10%
P T Pシート	 表面	 表面	 表面	
	 裏面	 裏面	 裏面	
形状	硬カプセル剤 	硬カプセル剤 	硬カプセル剤 	細粒剤
直径（長径）	14.5mm	14.4mm	14.5mm	—
厚さ（断面）	5.3mm	5.3mm	5.3mm	—
重さ	0.22mg	0.22mg	0.22mg	—
色	キャップ：淡赤褐色 ボディ：淡赤褐色	キャップ：淡赤褐色 ボディ：白色	キャップ：白色 ボディ：白色	微黄白色～淡黄白色
識別コード	LL145	LL146	LL147	—

## 【この薬に含まれているのは？】

販売名	アモキシサン カプセル 10mg	アモキシサン カプセル 25mg	アモキシサン カプセル 50mg	アモキシサン 細粒10%
有効成分	アモキサピン			
添加剤	乳糖水和物、ステアリン酸マグネシウム (カプセル本体) 酸化チタン、三二酸化鉄、ラウリル硫酸ナトリウム	乳糖水和物、ステアリン酸マグネシウム (カプセル本体) 酸化チタン、ラウリル硫酸ナトリウム		トウモロコシデンプン、乳糖水和物、ヒドロキシプロピルセルロース、軽質無水ケイ酸

## 【その他】

### ●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

### ●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

## 【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：ファイザー株式会社

(<https://www.pfizer.co.jp/pfizer/>)

製品情報センター（患者さん・一般の方）

電話：0120-965-485

FAX：03-3379-3053

受付時間：月～金 9時～17時30分

（土日祝祭日および弊社休業日を除く）